

十和田市現代美術館

秋季企画展

都市の記憶

—— 和田光弘 写真展 ——



秋まつりの流し踊り (昭和37年ころ)



中央商店街・5丁目付近 (昭和40年ころ)

と き 9月13日(土)～10月19日(日) 月曜日は休館 (祝日の場合は翌日が休館日)
午前9時～午後5時 (最終入館は午後4時30分まで)

観覧料 無料

十和田の「街」の記憶を切り取ってみたいという思いから、写真展「都市の記憶」は動き出しました。本展では十和田の中心市街地・都市部、また人々の生活や日常に視点を定め、写真作品により時間と空間を追います。街に溶け込む建物、歴史を伝えるまつりや行事、雪の降り積もる冬、緑が生い茂る夏を過ごす人々などの写真を、日常の視点を通し展示します。

現在進行形の市内の様子から、もうすでになくなってしまった風景までも同時に展示することにより、よみがえる思い出、重なるイメージ、そして未来へとつながる「記憶」の波を感じてください。

関連イベント

9月13日(土) 午前9時～10時

オープニングによせて、本展作家和田光弘さんによる作品解説

9月20日(土) 午後1時30分～3時

第4回現美土曜のつどい 和田光弘さんと当館学芸員によるトーク「写真表現と街の風景」

特別同時開催 <十和田市商店街・街中おもいで写真展>

十和田市商店街と現代美術館の連携企画。

美術館すぐそばの商店街を会場に、記憶に残る、未来へ残したい写真を店内や店先などに展示します。お店が美術館の別館になり、商店や人々の思い出をたどる貴重で懐かしい写真が展示されます。この機会にぜひ足を運んでみませんか。



中央商店街・5丁目付近 (昭和43年ころ)

問い合わせ先 十和田市現代美術館 (☎@1127)

安心・安全なまちセーフコミュニティを目指して⑩

問い合わせ先 市保健センター (☎@1181)



講演した朴南秀さん



真剣に聞く参加者たち



自殺予防を呼びかける「こころの会」を視察を作り出すことにつながります」と広い視野に立った熱意あふれる内容でした。

去る7月28・29日、韓国にあるWHOアジアセーフコミュニティ提携支援センター、コーディネーターの朴南秀さんを十和田市にお迎えし、これまでの市の取り組みや地域の視察を通して、「セーフコミュニティにおいて鍵となる課題」をテーマに講演しました。約100人の関係者や市民が参加した講演では、「セーフコミュニティは、そこに住む人の存在価値や生活の質を高める最も効果的な投資です。さらに、市民の積極的な参加と関係者の強力なサポートは、将来安全な十和田市を作るだけでなく、安全な日本、安全な世界

視察では、「十和田市は自転車を利用する高齢者のかたが多いのでヘルメット装着により、転んでも頭部外傷など大きなけがにならなくてすみます。また、十和田湖や奥入瀬溪流、八甲田は素晴らしいが、初めて訪れる人には道路状況や危険箇所が分からないので、外国語での標示があれば快適な旅になるでしょう」などの助言がありました。

事故やけがの世帯調査に協力していただいた市民の皆さん、大変ありがとうございました。